

---

# 平成19年度(第51期)決算説明資料

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

---



2008年6月27日

---

## <目次>

---

### 1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7
(7) 株式の流動性向上	8
(8) 利益配分の方針	8

### 2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	9
(2) 諸施策	10
(3) 業績の見通し	11

---

# 1. 決算の概況

## (1) 損益計算書、貸借対照表の概略

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	07/3期	08/3期	前期比(%)	07/3期	08/3期	前期比(%)
売 上 高	12,753	13,094	102.7	11,867	11,696	98.5
営 業 利 益	143	44	-	98	67	-
経 常 利 益	221	1	0.5	164	21	-
当 期 純 利 益	195	886	-	207	872	-

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	07/3期	08/3期	増減	07/3期	08/3期	増減
資 産	11,928	10,737	1,191	10,934	9,724	1,210
負 債	4,928	4,745	183	4,702	4,465	237
純 資 産	6,999	5,992	1,007	6,231	5,259	972
総 資 産	11,928	10,737	1,191	10,934	9,724	1,210

## (2) 事業の取り組み内容について

### ・ 営業

お客様への販売価格の値上げ交渉並びに新分野への市場開拓

### ・ 製造、購買

生産改革プロジェクトを発足し、生産リードタイムの短縮、生産性の向上に取り組む。

### ・ 研究開発

- ・ 環境にやさしい省エネ、低騒音の製品開発 (小型・低消費電力となるDC(直流)ポンプのシリーズ化)
- ・ ポンプ応用技術を活かしたユニット製品の開発

### ・ その他

- ・ 金融商品取引法で求められる内部統制システムの構築
- ・ 外注加工先であった(株)マルケイ製作所 (現:新宮サンソー(株))を連結子会社化し、グループ内での内製化を進める。

### ・ 特別要因

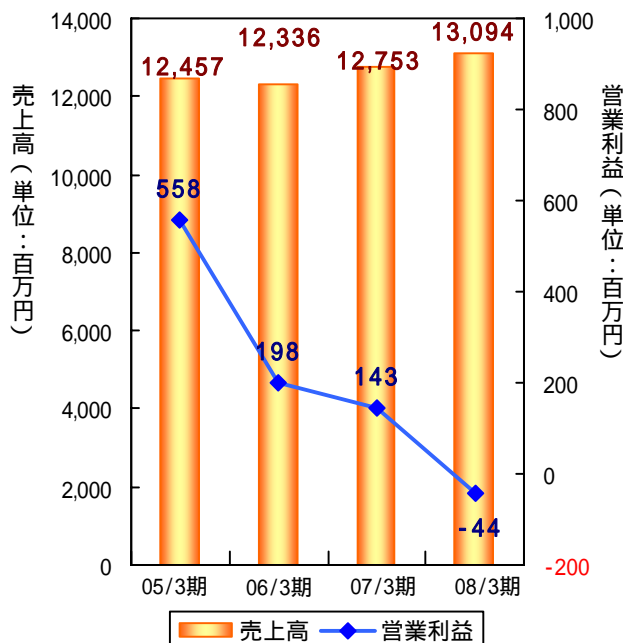
グループ企業の個別業績を鑑み将来の課税所得の見直しを行った結果、当社および国内子会社の一部において、財務体質の健全性の観点から回収可能性の低い繰延税金資産の全額 8 億 2 7 百万円の取り崩しを決定し、法人税等調整額 (損失) に計上



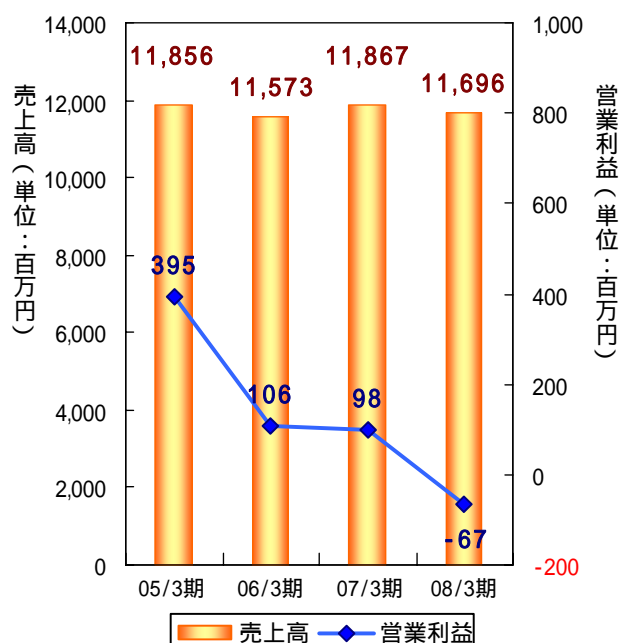
### (3) 売上高および営業利益の推移

- ・売上高においては、海外でのエアコン市場拡大により家電機器用モータの需要は堅調に推移したが、原油高騰による石油暖房商品の低迷や改正建築基準法施行による住宅建築の減少により、関係するポンプの需要が減少傾向となる。
- ・営業利益においては、収益性の高いポンプの販売減少に加え、原材料高騰による影響が大きく営業損失となる。

【連結】



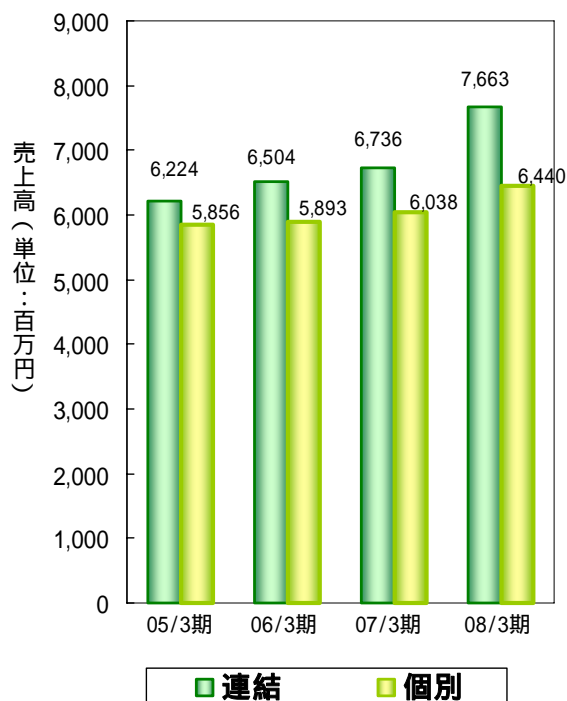
【個別】



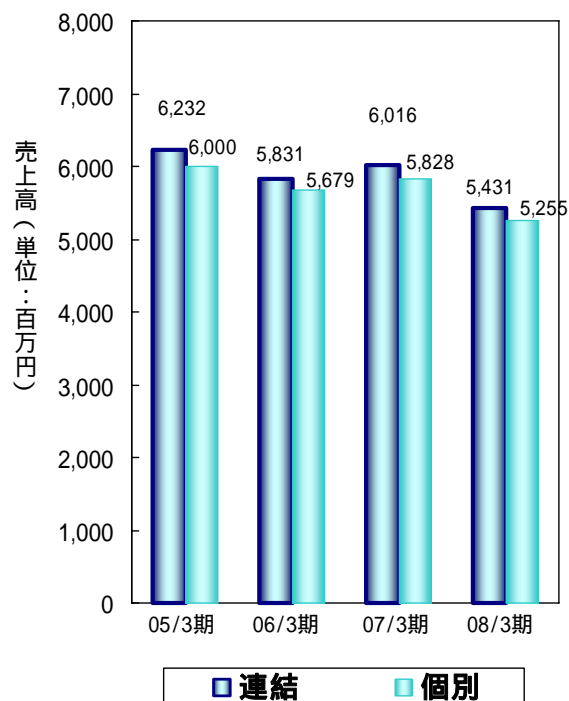
### (4) 品目別売上高の推移

- ・08年3月期はエアコン用モータの受注が増加した反面、収益性の高いポンプの受注が減少

【モータ】



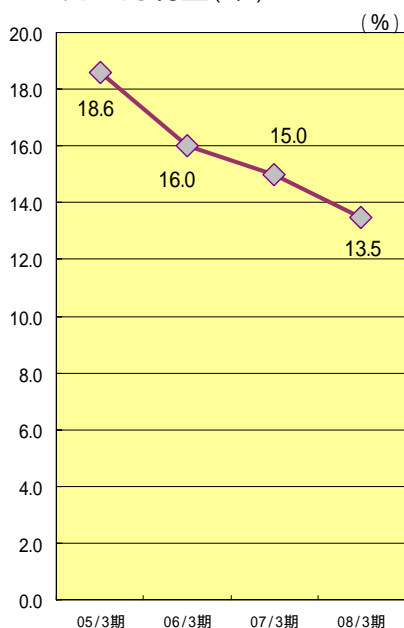
【ポンプ】



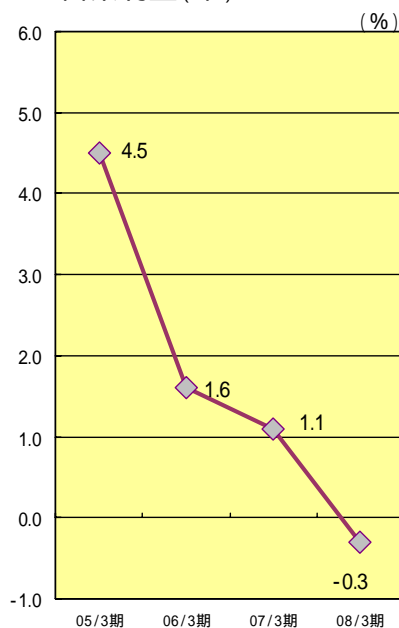
## (5) 収益関連指標(連結)

- ・生産性の向上、諸経費の削減を進めるが、非鉄金属や原油の更なる高騰により、製造原価を高める。
- ・08年3月期は、繰延税金資産の取り崩しを行い、大幅な当期純損失となる。

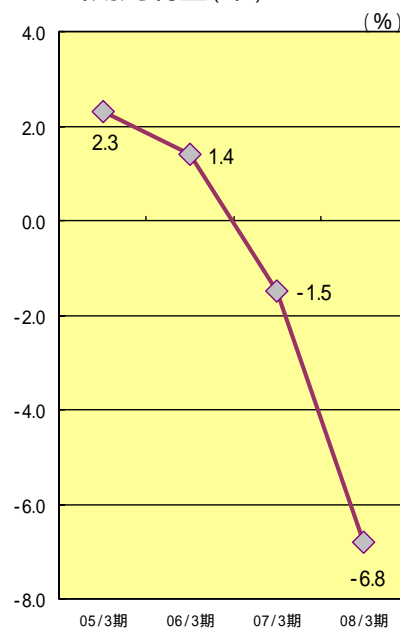
売上総利益(率)



営業利益(率)



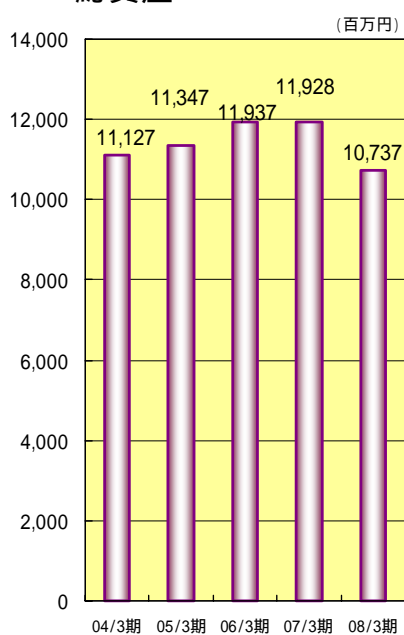
当期純利益(率)



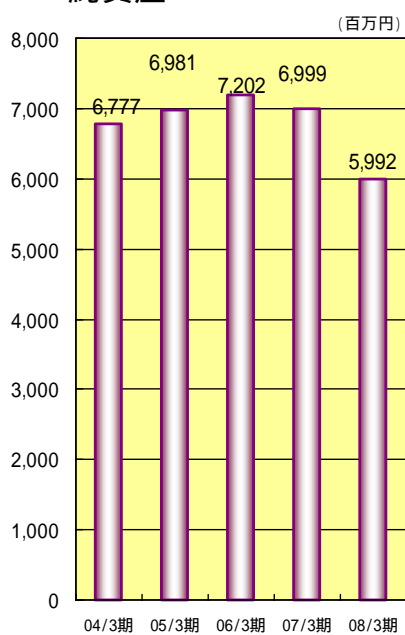
## (6) 総資産・純資産(連結)

- ・流動資産については、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が減となる。
- ・固定資産については、繰延税金資産が減、土地が増となる。
- ・純資産については、利益剰余金が減となる。

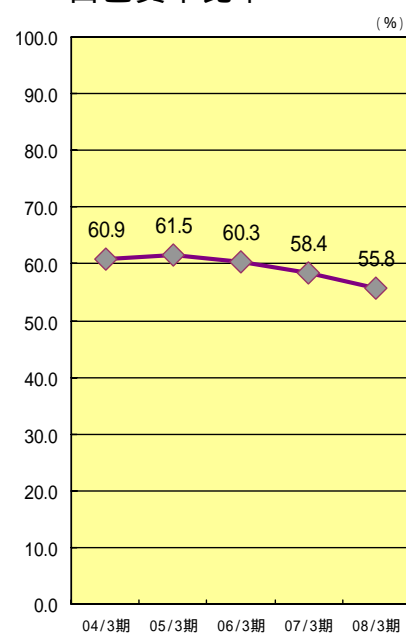
総資産



純資産



自己資本比率



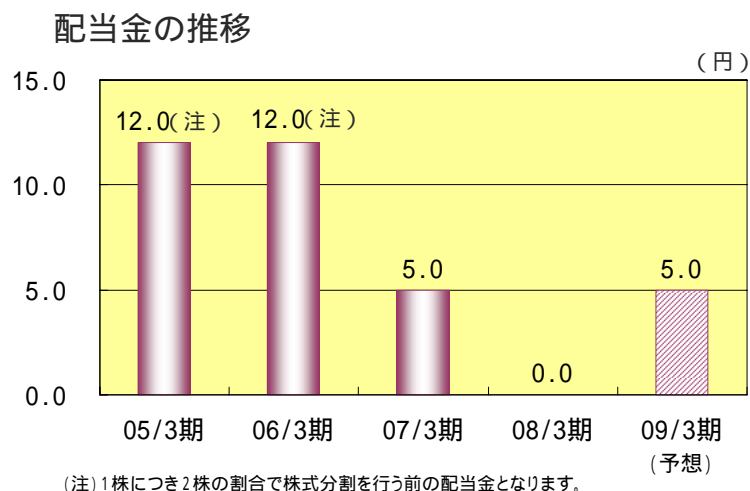
## (7) 株式の流動性向上

(株式分割を実施)

より投資しやすい環境とするため、当社株式の1投資単位あたりの投資金額を引き下げ、株式の流動性の向上並びに投資家様の拡大を目的に、平成19年2月1日をもって1株につき2株の割合をもって株式分割を行っている。

## (8) 利益配分の方針

08年3月期の配当については、連結の業績で若干の経常利益は確保できたものの、多大な当期純損失を計上している状況を踏まえ、誠に遺憾ながら無配を決定。次期の配当については、業績を向上させ安定的な配当を行うように務めていく。



## 2. 今後の取り組みについて

### (1) 経営環境

#### 経済状況

- ・サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカの景気後退懸念や株式為替市場の変動、原油価格の動向等から、景気の下振れリスクが高まり、企業収益は厳しい状況で推移するものと考えられる。

#### 業界動向

- ・昨年からの原油価格の高騰に加え、鉄鋼材の価格上昇など一段と原材料高となるが、モータを製造している大手家電メーカーでは産業用モータの値上げを実施するなど、業界として製品価格への転嫁が進行している。
- ・モータ、ポンプとも低消費電力となるDC(直流)製品への需要が増加傾向となる。

#### 現況

- ・銅やアルミなどの非鉄金属に加え鉄鋼材や石油製品の価格が上昇し、さらなるコストアップが予想される。

## (2) 諸施策

### ・営業

- ・市場で優位性のあるDC（直流）ポンプの拡販により、ポンプ製品の受注回復を図る。
- ・原材料の高騰を販売価格に転嫁するとともに、ユニット製品の販売で新規市場を開拓する。

### ・製造、購買

- ・生産体制の見直しにより一気通貫生産方式を確立し、生産リードタイムの短縮、生産性の向上、仕掛品在庫の圧縮を進める。
- ・グローバルな部材の調達を進めコストダウンを図る。

### ・研究開発

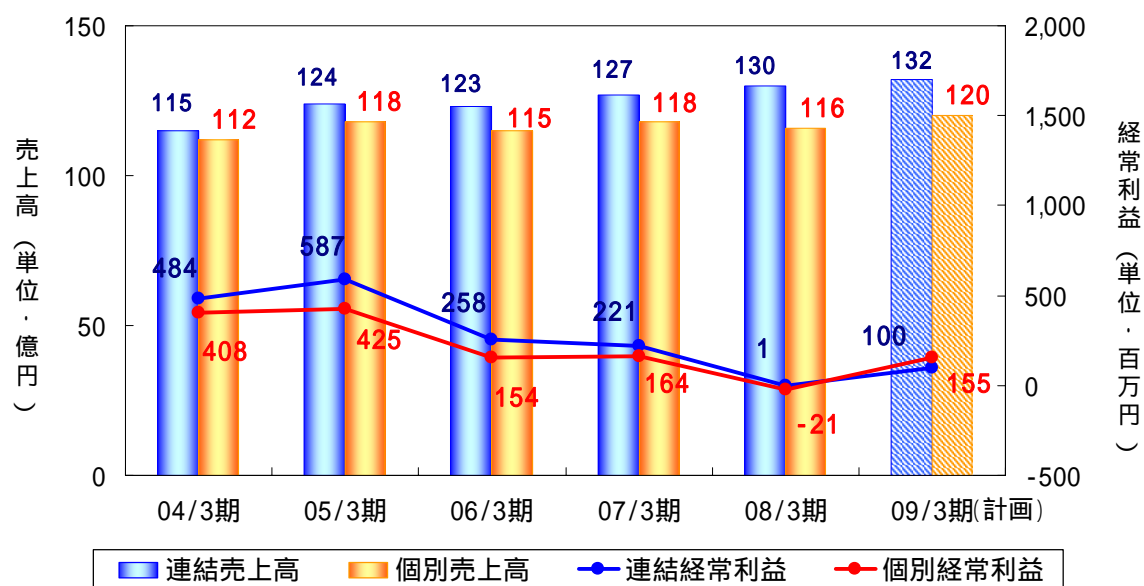
- ・独創的な製品開発を行い、市場での優位性を築く。
- ・環境に適合した低消費電力のDC（直流）モータ・ポンプのシリーズ化を進め、市場のニーズに応える。

### ・その他

- ・金融商品取引法で求められる内部統制システムの確立を図る。

## (3) 業績の見通し

### [売上高・経常利益のグラフ]



売上高：昨年受注が落ち込んだポンプの受注回復を図り、増収を目指す。

経常利益：原材料高騰の影響が下半期においても継続するが、販売価格の値上げ交渉並びに原価低減の推進により好転を目指す。

# おことわり

---

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成20年6月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

## お問い合わせ先

三相電機株式会社  
統括管理部 経営企画課  
〒671-2288  
兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号  
TEL 079-266-1200  
FAX 079-266-1206  
E-mail [sanso@sanso-elec.co.jp](mailto:sanso@sanso-elec.co.jp)